

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	会津若松市役所		代表者名	室井 照平	
担当者部署	企画政策部情報統計課		連絡先電話番号	0242-39-1214	
担当者役職	主任主事	担当者氏名	南波 美咲	連絡先E-mail	
住所	965-8601 福島県会津若松市東栄町3番46号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	宮崎 昌美	
評価	大変よい	
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	研修の時間を当市の都合に合わせて実施していただきました。また、午後の相談・質問会では、各所属の職員に対し個別にご助言いただきました。	
アドバイザーへの要望事項		

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和5年11月10日	講演(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			9時00分	16時00分	60
			活動時間（分）	360	
3-2. 派遣場所	会場名	生涯学習総合センター	最寄駅	会津若松駅	
	所在地	福島県会津若松市栄町3番50号	最寄駅からの交通手段	市職員送迎	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/
------	---------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	60人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	dXとは実際にどのようなもので、取り組む必要性があるのか等の基礎的な知識が根付いておらず、職員間で地域情報化への意識のバラつきが見られる	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	dX等の基礎知識、事業への取り組み方や考え方、活用方法について理解すること。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	午前：自治体dX研修（dXの本質の理解、当市総合計画とdX、dXが進む考え方、不平不満をかき出す・共有するワークショップ等） 午後：相談・質問会（各所属職員の課題に対する個別相談・質問対応）	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	受講者がdXの必要性を理解し、dXの考え方を所属へ持ち帰られる研修が行うことができた。また、相談・質問会では各所属職員からの個別相談への対応をしていただいた。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑦その他 庁内IT・dX推進リーダー及び受講希望者への自治体dX研修を実施できた。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別添アンケート集計データ参照	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿		

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

